

経営比較分析表（平成29年度決算）

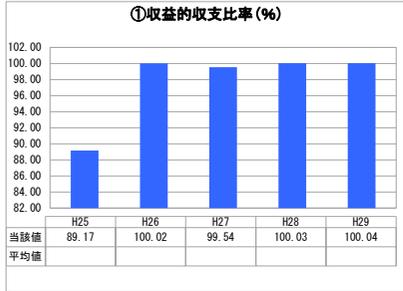
山形県 上山市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20 ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	2.12	100.00	3.120

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
30,889	240.93	128.21
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
651	1.28	508.59

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成29年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



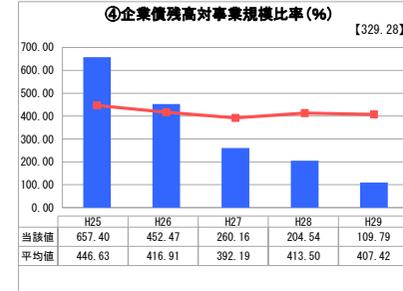
「単年度の収支」



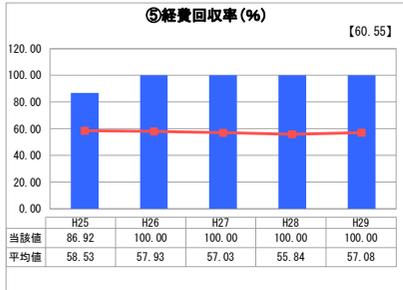
「累積欠損」



「支払能力」



「債務残高」



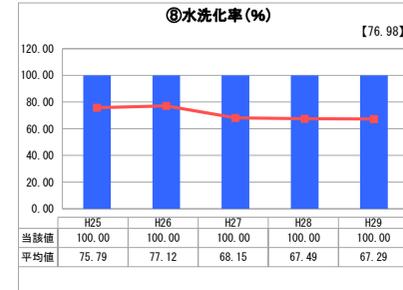
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

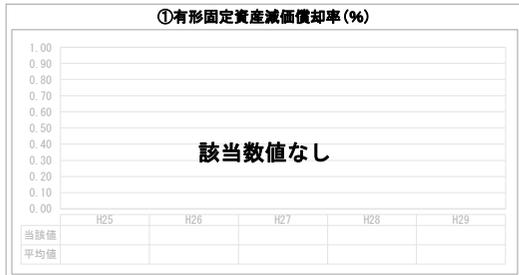


「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

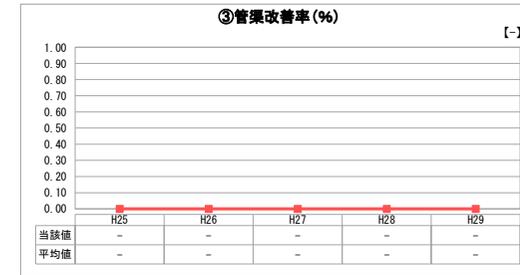
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析概

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率、企業債残高対事業規模比率、経費回収率、汚水処理原価等の指標をみる限り特に問題はなく、健全な運営となっている。
一方、施設利用率をみると平均を下回っているが、これは対象地域において高齢化・過疎化が進み少人数の世帯が増えてきていることが影響しているものと思われる。なお、使用料は浄化槽の規模別となっていることから、使用人数減による収入上の影響はない。

2. 老朽化の状況について

平成16年の整備事業開始なので約15年程度経過している浄化槽もある。
維持管理者と密に連携し、プロワを含む駆動機器等の消耗品の不具合等については早急に対応するよう心がけているが、一部において内部装置の不具合報告も受けており、該当箇所について今後計画的に修繕を行っていく予定としている。

全体総括

浄化槽の規模に応じた使用料を設定していることから、使用され続ける限り安定した収入が見込め、経営上特に問題がないと考えているが、一部において休止により使用料収入が見込めない浄化槽も出ていることから、休止浄化槽への対応を抑える等維持管理費用低減の工夫を進めるとともに、寄付受納による市管理浄化槽の追加を進める。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。
※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。